

## 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	ぬくもりの郷グループホーム		
開催日時	令和7年7月21日		
開催場所	ぬくもりの郷 2階会議室		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	4名	管理者、サービス管理責任者、事務局職員、世話人職員
	入居者代表	1名	
	入居者代表のご家族	1名	
	入居者ご家族の代表	1名	
	福祉に知見を有する方	1名	安城市社会福祉協議会（基幹相談支援センター）
	地域の福祉関係者	1名	民生委員・赤松町福祉委員会代表
議題	市町村担当職員	1名	安城市福祉部障害福祉課
	(1) 開会の言葉 (2) 管理者あいさつ (3) 出席者紹介 (4) 地域連携推進会議の趣旨説明 ア. 会議の目的役割説明 イ. 会議の進め方の確認 (5) ぬくもりの郷ホームの説明 ア. 生活・活動について イ. 運営・経費について ウ. ホーム見学 (6) 質疑応答 (7) 閉会の言葉		
	(1) 略  (2) はじめての地域連携推進会議開催となるため、本日は会議開催目的を一緒に学び、ぬくもりの郷ホームの紹介をさせていただき、ホーム内見学後に更なる支援サービスの向上のため忌憚のないご意見をいただきたい。また会議録は公開が必要となります。公開用の写真撮影を行いますのでご承知おきください。  (3) 出席者の構成員自己紹介  (4) 地域連携推進会議の趣旨説明動画を視聴  (5) (ア) プロジェクターを利用し、現在のホーム概要・利用者の生活の様子と町内会イベント参加時の写真紹介・集金内容等について説明。 (イ) 令和6年度資金収支計算書と利用者に同意いただいたグループホーム生活費の取扱い文章を用いて、利用者の自己負担金額について説明。 (ウ) 入居者と事務所職員案内によるホーム全棟の見学。		
	(6)  質問：【管理者から】地域から見たぬくもりの郷はどのようにみえますか？ 回答：【地域の福祉関係者】赤松町に同じ法人のぬくもりワークスができて32年目になる、両施設（ぬくもりワークス・ぬくもりの郷）で町内行事にも参加してもらっているのでありがたいと思っている。（施設に対しての）理解は他の町内会よりはあると思うが、とはいって、共生社会、すべて住人が理解あるかというのには難しい。地道につながりを積み重ねていくしかないかなと思う。 感想：【入所者ご家族】地域の方々に理解があり、ありがたく思っています。 意見：【入居者代表】（母がメモを代読） 「ぬくもりのいえからホームにかえります ホームではごはんを、たべたりテレビをみたりして、みんなとなかよしすごしています。」 感想：【市町村担当職員】しっかり取り組んでいる様子が見て分かりました。利用者さんの満足した気持ちを聞いて、わたくしもうれしく思いました。 意見：【福祉に知見を有する方】次回は、職員間の情報連携をどのようにされているか、職員の研修をどのようにされているか。教えていただけると、うまく運営している理由がわかるのでお願いたいしたい。		